



今日もいい味、
出てるねえ！



親父たちよ、キッチンに立とう サークル「男の台所」



男性が台所に立つことは珍しくなくなっています。特に、若い人たちは気軽に炊事を分担し、料理を楽しむ人たちが増えています。マスコミでの料理報道も賑やかで、有史以来、最近ほど食文化が華やかなときはないのではないと思われるほどです。

こんな時代の中で、ちょっと出遅れているのが中年以上の男性たちのようです。台所に立たないことが、男たるもののプライドだとする人も少なくありません。その一方で、中高年の男性たちの間に料理を楽しもうという気運が高まっています。

特に、独り暮らしの男性にとって料理は切実です。バランスのとれたおいしくて安全な食事を、手軽に、安価にとりたいという思いには強いものがあります。外食で美味を知り、情報は豊富でも、どのように作ったらよいのか、具体的な料理方法が分からない。親父たちは料理教室に通い、講習会に押し寄せています。

今回ご紹介するのは、公民館本館主催の料理講習会をきっかけにスタートしたサークル「男の台所」(代表:小野豊さん/講師:杉本治雄さん)です。十数名のメンバーが、月一回、市民会館の調理室で料理づくりを楽しんでいます。その活動をレポートしながら、親父たちが台所に立つためにはどんなことがポイントなのかを考えてみましょう。



講師：杉本治雄氏



代表：小野豊氏

